

令和6年度 第2学期始業式式辞

皆さん、おはようございます。

まずは、生徒の皆さんが本日の始業式を無事に元気で迎えられたことを大変うれしく思います。皆さん自身の行動と、保護者等を始め、皆さんを見守り支えてくださった多くの方々に感謝します。

さて、このあたりは台風10号の大きな被害を聞いておりませんが、全国各地で線状降水帯等による大雨や突風、地滑りなど、甚大な被害に見舞われ、お亡くなりになられた方もおられます。謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

ところで、皆さん、この夏休みは充実していましたか。1学期の終業式で「夏休みをターニングポイントにしてください。そのために夏休みにしかできないことに挑戦してほしい。」という話をしましたが、振り返ってどうですか。皆さんの表情、日焼けした肌をみると、3年次は進路実現に向けての取組、1、2年次は部活動や補習を切っ掛けに夏休み前よりもさらにたくましく、大きく成長できたように、私には伝わってきます。

皆さんにとって、2学期は各年次の中で一番充実させる、充実できる時期・季節となります。学校生活にも慣れ、学校行事や部活動などでの年次での役割や生活面での時間のゆとりなどを感じることができ、その余力を自分自身の行動に還元できるようになります。特に、学校行事として9月に2年次は間近に迫った修学旅行、10月には第77回体育祭、11月には中学生向けのオープンハイスクールがあり、部活動においても県秋季大会や県総合文化祭も実施されるなど実りの秋にふさわしいイベントが控えています。勿論、3年次の皆さんにとっては、就職試験や推薦入試という進路実現に向けて高校生活の集大成が求められる時期となります。是非、最後まで諦めずにやりきってほしいと思います。

そこで、皆さんに2学期に取り組んでほしいことがあります。それは「トライ・アンド・エラー」の精神を養うことです。直訳すると、「挑戦と失敗」です。人生は、順風満帆とはいきません。時には課題に直面し、悔しい思いをすることもあるでしょう。目の前の壁を乗り越えるためには、困難の原因を分析し、効率的に解決するための力が求められます。そこで重要になるのが、「トライ・アンド・エラー」の考え方です。トライ・アンド・エラーの精神を養うためには、失敗を肯定的に受け入れる姿勢を持ちましょう。ここでのトライ・アンド・エラーとは、「失敗」と「改善」の繰り返しです。失敗に対して否定的になると、改善へのモチベーションが失われてしまいます。とにかく、失敗を恐れずに、チャレンジする、まず行動を起こすことです。皆さんがその気持ちを持って行動すれば、きっとその頑張っ

いる姿を応援したい、協力したいという人が現れてきます。ですから、今そういった行動ができていないと思う人は、今から気持ちを切り替えて、ネガティブ、否定的な考え、返事、対応ではなく、ポジティブ、肯定的な言動で行動するように心がけていきましょう。

これに関連したことで、皆さんはアメリカの発明家、トーマス・アルバ・エジソンを知っていますよね。電話機、蓄音器、白熱電球などを今から約 150 年前に発明された偉人です。そのエジソンの名言に「私たちの最大の弱点は、諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう 1 回だけ試してみることに。」とか、「失敗すればするほど、我々は成功に近づいている。」、また、「失敗なんかしていない。上手くいかない方法を 700 通り見つけたただけだ。」と努力の人、不屈の人ならではの前向きな考え方があり、そして、実績を残した偉人であると思います。人からなんと言われようとも、自分を信じて、やり抜く姿を是非、参考にしてください。

最後に、休み明けで少し気持ちが乗らない、しんどいと感じる人もいるかもしれませんが、一人で抱え込まないで話しやすい人に相談しましょう。相談でなくとも、思っていること、愚痴でもかまいませんが、誰かに話を聞いてもらうだけでも気が楽になることもあります。

今月もまだまだ気温が高い日が続くようです。一人ひとりの心身への健康への気配りによって、基本的生活習慣等が改善されて、学校全体の健康環境がより一層整い、元気な学校につながることにようになります。

皆さんにとって、2 学期がさらに充実したものになるよう、期待して、第 2 学期始業式の式辞とします。

令和 6 年 9 月 2 日

学校長